

2021年9月
No.21-149a(山)※1

新規受託項目のお知らせ

拝啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。
平素は格別のお引き立てを頂き、厚くお礼申し上げます。

さてこのたび、下記項目の検査受託を開始することとなりましたのでご案内いたします。
弊社では皆様のご要望にお応えすべく、今後とも検査の新規拡大に努めてまいります。

敬具

記

■新規受託項目

- [-] SCCA2

■受託開始日

- 2021年9月15日(水)

SCCA2

SCCA(squamous cell carcinoma antigen)は、セルピン(serpin)スーパーファミリーに属するセリンプロテアーゼインヒビターで、主に上皮細胞から産生されるタンパク質です。SCCA には、SCCA1 と SCCA2 というアイソフォームが存在し、アミノ酸レベルでの相同性は 91%と非常に高いものの、異なる遺伝子座から転写される独立した遺伝子産物です。

SCCA2 は、アレルギー性炎症において中心的な役割を果たす IL-4 や IL-13 によって誘導されます。

また、小児のアトピー性皮膚炎(AD)患者血清で上昇し、AD 重症度の指標である Objective-SCORAD と関連します。

AD における重症度の評価は適切な治療選択に重要であり、血清 SCCA2 値は小児 AD の重症度の指標として有用なマーカーです。

本検査は、15 歳以下の小児を対象として 2021 年 2 月より検査実施料が新規収載されました。

■検査要項

項目コード	-
検査項目名	SCCA2
検体量/保存方法	血清 0.3mL*1 / 凍結 [容器形態:01 → X]
検査方法	EIA
基準値	1.6 ng/mL 未満
所要日数	13~27 日
検査実施料	300 点*2
判断料	144 点(免疫学的検査判断料)
報告下限	0.3 ng/mL 未満
報告上限	100,000 ng/mL 以上
報告桁数	小数 1 位
検査委託先	LSI メディエンス (→1)*3
備考	*1: SCCA2 は、皮膚表皮、唾液、汗、その他の体液などにも存在します。これらが混入あるいは接触した検体、器具などを用いると測定値が高くなる場合があります。検体、器具などを取り扱うときは、常に手袋とマスクを着用してください。 *2: 15 歳以下の小児におけるアトピー性皮膚炎の重症度評価を行うことを目的として測定した場合は、区分番号「D014」自己抗体検査の「35」抗デスクモグレイン 1 抗体の所定点数を準用して、月 1 回を限度に算定できます。ただし、本検査と「TARC」を同一月中に併せて行った場合は、主たるもののみ算定できます。 *3: 本検査は LSI メディエンスを通じて、シノテストサイエンス・ラボにて検査実施いたします。

■重症度の目安

	血清 SCCA2 値 (ng/mL)
軽症	1.6 ~ 2.6 未満
中等症	2.6 ~ 6.0 未満
重症	6.0 以上

■参考文献

Nagao M, et al. : J. Allergy Clin. Immunol. 141: 1934-1936, 2018.